

グローバルスタディIII

(インドネシア:ジョグジャカルタ)

関西国際大学 保健医療学部 看護学科 グローバル専攻

安藤楓果 大谷深河 河野明希 高松愛美 谷川愛花 日高里菜 藤田青夕 和田奈久萌

事前学習

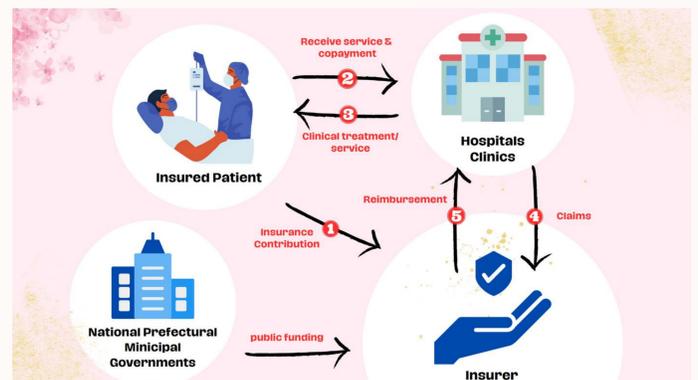
目的

インドネシアの保健医療制度や看護実践、文化的ケアについて、事前学習やオンライン授業を通して、また、現地での視察並びに UGM (Gadjah Mada University) の看護学生、教員との討議を通じて学ぶこと。また、インドネシアの人々の暮らし方や考え方、価値観・健康観などに触れ、それらの背景となるものをアセスメントする力を養い、看護の実践における文化的意味付けを行うことができる。そして文化的背景の異なる外国人患者や住民への異文化看護について考察すること

防災



保健医療



文化



【成果】

事前学習を通して、現地での理解を深める準備ができました。現地でのプレゼンテーションに向け日本の文化や保健医療制度についての紹介を英語で作成し、日本とインドネシアの文化、防災、保険医療制度の違いについて学びました。また、イスラム教や文化を知るためにモスクを訪れ、宗教や価値観への理解を深めました。さらに日本の防災について学び、両国の取り組みを比較する視点を養い、現地での理解を深める準備ができました。

現地活動

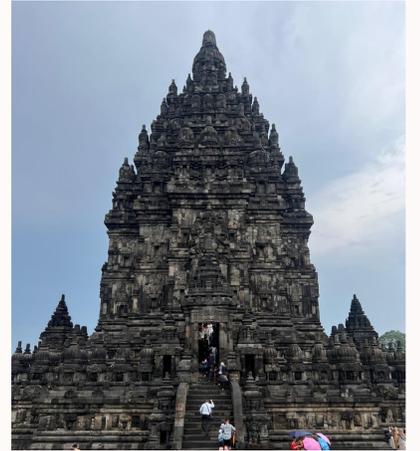


2/6~2/20まで、ガジヤマダ大学の協力にて約2週間の現地活動を行いました。

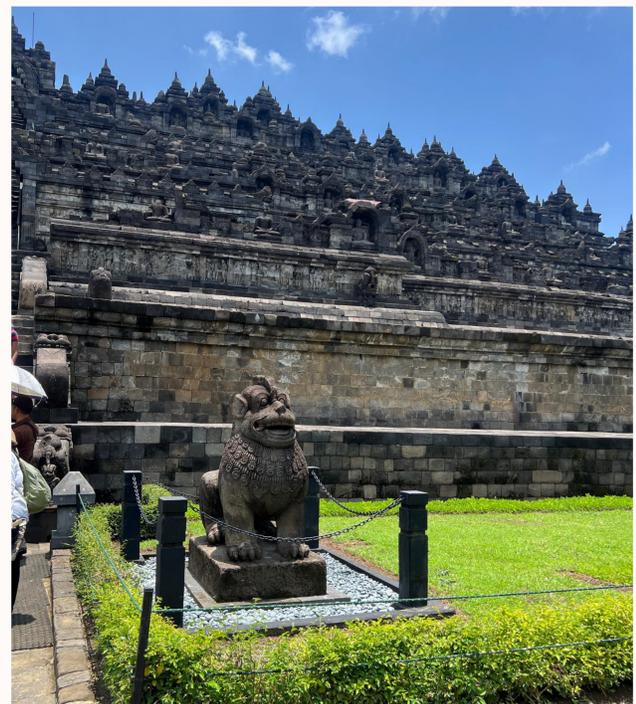
保健医療



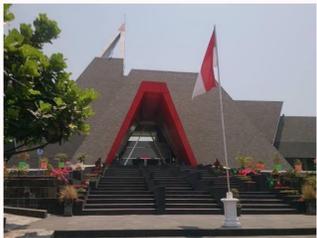
宗教



文化



防災



交流



【成果】

このグローバルスタディを通して、多文化理解と柔軟な対応力の重要性を学ぶことができました。文化的、宗教的背景の異なるインドネシアの保健医療制度や価値観に触れることで、日本では当たり前と思っていた看護の在り方を見直す機会にもなりました。また、宗教や伝統を尊重しながら生活している人々の生活から、多くの人々が助け合い、物質的な豊かさだけでは得られない心の豊かさがあることに気づきました。さらに、言語や宗教、生活習慣の違いを尊重する姿勢を身につけることで、より広い視野と国際的な看護観を養う貴重な体験となりました。この経験をもってして、日本で暮らす外国人患者への文化的ケアに活かしていきたいと思えます。